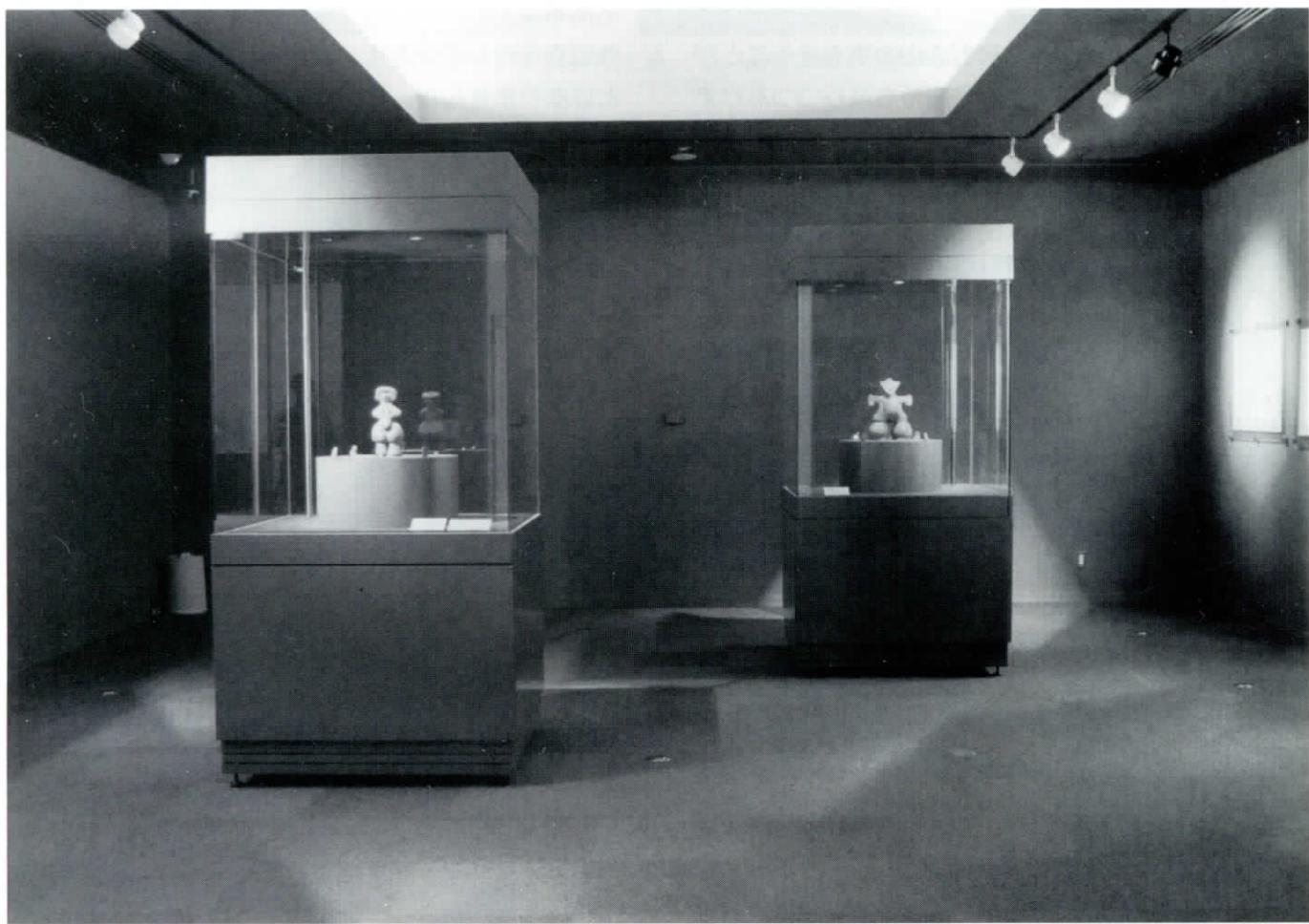


# 茅野市ハケ岳通信

尖石縄文考古館

## 開館後初の本格的展示替え 「縄文のビーナス」と「仮面の女神」同室に



平成12年8月に、湖東中ッ原遺跡の発掘調査で出土した土偶「仮面の女神」が、展示室Bに移され、棚畠遺跡出土の国宝土偶「縄文のビーナス」と同じ展示室で見学することができるようになりました。

「仮面の女神」は昨年の春に修復が終わった後、これまで特別展示室に仮展示され、一般に公開されてきました。これでようやくハケ岳山麓を代表する土偶2点が同じ展示室に並んで見られることになりました。

考古館では、「仮面の女神」の出土以来、修復前からどのように展示したらよいのか検討してきました。

これまでの展示室は、国宝の土偶を中心に日本各地

で出土した土偶のレプリカを展示し、地域や時代を超えた代表的な土偶と比較するなかで、国宝土偶の芸術的なすばらしさを見てもらえる展示となっていました。

今回は展示手法に芸術性を保つつもいくつかの解説パネルを配置し、「縄文のビーナス」と「仮面土偶」のことは、この部屋だけですべてわかるように工夫しました。

具体的には、別の展示室にあった土偶の出土状態の写真パネルを移転したほか、「仮面の女神」については出土状態の模型も設置しました。また、レントゲンやCT写真のパネルも展示しました。

## やってみませんか？博物館ボランティア ～今年度の活動記録から～

博物館では、より一層の博物館活用のために平成4年度より『博物館ボランティア』として、ボランティア育成活動を始めています。博物館ボランティアとなるために、まず学習会員となっていただき、その中より希望者がボランティアとして活動に加わっていただきます。ボランティアの皆さんから様々な意見をいただきながら活動を進めています。

現在では参加者86人、自然・民俗・歴史・文芸・民話・天文などのグループに分かれ、それぞれの活動をおこなっています。

### ■自然■

自然ボランティアでは、身の回りの自然を知ることから始め、カエル・ホタル、秋に鳴く虫、冬芽の木々、探鳥会などの自然観察会を行いました。観察会では思わず副産物として、クルミなどの山の幸も拾うことができました。自然の観察できる場所も減りつつあります、生き物はちゃんと生きています。



探鳥会風景

### ■文芸■

平成12年度に岳麓文芸館がオープンし、今年度より活動を開始しました。文芸資料を持ち寄り学習し、文芸館資料充実のための情報集めなどを行い、今後の活動としては文芸マップ作成のための文学碑めぐりを企画したいと思案中です。

### ■山浦の語りべ（民話）■

平成10年度より活動を始め、地域のお年寄りの方々からお話を伺い、「山浦の語りべ」という本を年1回発行しています。その場の話をテープに録音、テープを原稿におこし、編集・印刷・製本まで手作りで行っています。3月の終わりに第4集が発行されます。

お年寄りの語り口調そのままに、一人一人の記憶を記録することでまた新たな発見があると思い作り始めました。話していただいたことをそのまま記録するように努め、ありのままの姿を本にするよう心がけています。

◎学習会員とは… 3館(総合博物館・尖石縄文考古館・守矢史料館)入館共通券により、年度内自由に入館できます。  
(小中学生 400円 大人910円)

### ■天文友の会（天文）■

北部生涯学習センター（北部中学校）の望遠鏡を利用した天体観測を主な活動としています。直径40cmもある望遠鏡の使い方から始めて、今では月3回の天体観測を行っています。毎回空が晴れているということはありませんが、間近に見える星々はとても美しいです。

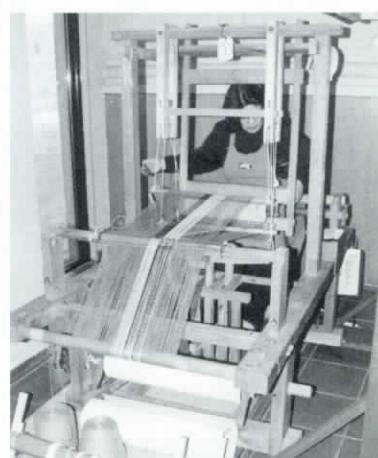
### ■はたおり（民俗）■

機織りボランティア「ねじばな」では、どのようにして機織りをするのかという学習から始めました。機織り機に糸をかける方法から始めて、個人の糸で作品にしています。ボランティア用の機織り機も2台用意し、順番で織り上げています。

機織りは織るだけなら小学生でもできる簡単なものです。現在では来館者に織る手ほどきを行ったりもしています。諏訪の山浦地方では、春になると機を織る

「トン、トン」という音がどこからともなく耳に入ったといいます。

そのような伝統を多くの方に伝えていきたいと考えています。



織りの様子

以上のように、現状ではまず“知ること”を中心とした学習を行っている博物館ボランティアですが、このような活動を行い、その中で得たものを紹介し、市民の皆様の学習に活かせればと考えています。ぜひ市民の皆様にもボランティア活動を理解していただき、興味をもって参加していただけるようにと考えています。

# 平成13年度市内で見つかった埋蔵文化財特集



中ヶ原遺跡 ▲縄文時代中期の人為的に穴が穿たれた土器。



▲縄文時代後期の石積みがある住居址。



塩之目尻遺跡 ▲縄文時代後期の土器埋設炉。



かしらなし  
頭無遺跡 ▲平安時代の鋤頭。



▲室町時代の立体的な人形。



荒玉社周辺遺跡 ▲室町時代の9斗入り常滑焼の大甕出土状況と復元された状態。



♪♪♪ いわむらかずお ♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

## 絵本原画展 「14ひきの雑木林」

01: 7月20日(金) ~ 8月19日(日)

今年は少し趣を変えて、大人主流の企画展ではなく小さなお子さんや、親子で楽しめる絵本の原画展を開催しました。『読書の森 読り一む in ちの』の協力を得て、絵本作家のいわむらかずお作品で人気の高い、「14ひきシリーズ」を主に「トガリ山のぼうけん」や「かんがえるカエルくん」などたくさんの原画を見る事ができました。原画をみているだけで、その世界に引き込まれていきます。原画を見ているだけで、おはなしが聞こえます。原画を見ているだけで、森の楽しさや森の美しさ、大きなお月様やキラキラ輝くお星さまのやさしさが伝わってきます。

小さな時、お母さんに読んでもらって、そのお母さんが子どもの頃にお母さんに読んでもらってと、3人で見えた親子。今でも好きで自分が楽しんでいるというお母さんや、全シリーズ集めていますと言うおばあちゃん。はずかしいけど、懐かしくてついつい絵本を

買ってしまいましたと言うお父さん。話の内容も好きだけど、絵がすごく可愛いからと額入りを嬉しそうに持つて帰るお父さんもいました。

いわむらかずお先生は講演会で『今は、何でも手にはいる便利な社会ですが、どこか心が荒んでいます。

小さな頃から絵本を読み聞かせることで、絵本の世界を楽しむと同時に、ことばを覚え、絵本の舞台である雑木林や草はらや畠や田んぼに出かけ、さまざまな生きものに出会い驚き、自ら発見し、美しさや不思議さに心をときめかせ、そのことで絵本の世界と自然との体験は、たがいに子どもたちの中で限りない広がりを持ち始めるに違いないと思うのです。自分の子どもの頃は、東京の中でも雑木林がたくさんありました。

今は栃木県益子町の雑木林の中で、子どもたちと一緒に毎日の生活を楽しんでいます。』と。

### —守矢史料館—

## 企画展「守矢文書と鉄鐸—誓いの鐸」

今年度守矢史料館では4月24日(火)から5月6日(日)までの「守矢文書にみる織豊期の諏訪」展と、8月9日(火)から9月9日(日)までの「守矢文書と鉄鐸—誓いの鐸」展の2回の企画展を行いました。鉄鐸とは諏訪神社に昔から伝わっている重要な祭具で、現在は諏訪神社と辰野町の小野神社・弥彦神社、朝日村の五社神社に伝わっているのみです。しかし、近年茅野市内の発掘調査により多くの鉄鐸が発見されています。出土した遺跡は御狩野遺跡・稗田頭A遺跡・高部遺跡・阿弥陀堂遺跡から出土しています。また、今年度の発掘調査によって頭無遺跡より鉄鐸の舌の部分が発見されました。

鉄鐸は全国的には古墳時代から出土しており、岡山県津山市教育委員会の研究では、同系統の遺物が朝鮮半島で出土していることが確認されています。平安時代になると状況が変化し、長野県を中心に出土するようになります。特に松本平と諏訪盆地で多く出土しています。茅野市で出土している鉄鐸はすべて平安時代のものです。

以上のことから、鉄鐸は古代以来の信仰の形態を現

代に伝えていることがわかります。守矢家には鉄鐸が伝えられており、また、守矢文書の中にも鉄鐸に関する記述がみられます。

『神使御頭之日記』享禄元年(1528)に甲斐国の武田信虎(信玄の父)と諏方頼満が神戸・堺川(富士見町)で争い、7年後の天文4年(1535)に堺川において両者が和睦しました。このときに神長(守矢頼貞)が「宝鈴」を鳴らし、和睦の誓約をしたという記述があり、何かを誓約するときに使用していたことがわかります。

また時代は下りますが、慶応4年(1868)の『信州諏方上宮神事祭礼大概』には御頭祭の時に神使様が前宮の階段下で馬に乗って引き回されるときに鉄鐸を身につけていたという記述があります。

以上述べてきたように、鉄鐸は考古学と歴史学両面から考察できる稀有な資料といえます。



茅野市の博物館・文化財課だより ハケ岳通信 No.20 発行年月日 平成14年3月28日

編集・発行 茅野市尖石縄文考古館 〒391-0213  
茅野市ハケ岳総合博物館 〒391-0213  
文化財課 〒391-8501  
茅野市美術館 〒391-0011  
茅野市神長官守矢史料館 〒391-0013  
茅野市豊平4734-132 TEL (0266) 76-2270  
茅野市豊平6983番地 TEL (0266) 73-0300  
茅野市塚原2丁目6番1号 TEL (0266) 72-2101  
茅野市玉川500番地 TEL (0266) 73-5440  
茅野市宮川389番地の1 TEL (0266) 73-7567